

1 単元 「1-1ルールを作ろう」

2 指導計画（3時間完了）

- (1) 夏休みをふりかえろう…………… 1時間
- (2) ルールを作ろう…………… 1時間（本時）
- (3) ルールを守れたかふりかえろう…………… 1時間

3 本時の指導

(1) 目標

話し合い活動を通して、「A 使用してよい時間」「B メッセージやメールを送るとき」「C リアルなコミュニケーションを楽しむために」の3点に関する学級のルールを作り、情報機器を適切に使うことができるようする。

(2) 情報活用能力の育成について

**情報機器を利用する時間帯について、自分たちで決めたルールを守ることができる。**

(3) 準備 情報モラル検討シート（各班1枚）、ルールを印刷したシール、「マルチャンカードPart 2」

(4) 指導計画

時間配分	学習活動	指導上の留意点
5分	1 1学期に学級の友達が考えたルールを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「マルチャンカード」に書かれたルールをプリントにして配る。</li> <li>○ 「B メッセージやメールを送るとき」「C リアルなコミュニケーションを楽しむために」については、1学期に取り組んだ「マルチャンカード」に一部の生徒が書いていた記述を紹介し、それをルールとすることを伝える。</li> <li>○ 本時は、「A 使用してよい時間」に関する学級のルールを作成することを伝える。</li> </ul>
15分	2 学級みんなのルールを分類する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 最初に個人で、情報モラル検討シート（横軸：自分たちのためになるかならないか、縦軸：守れそうか守れなさそうか）を用いて分類させる。</li> <li>○ ルールを印刷したシールを各班に配っておく。</li> <li>○ 個人で取り組んだ情報モラル検討シートを互いに見て、グループで共通しているものに印を付けさせる。共通していないものについては、理由が分かるように話し合わせ、適切なエリアにシールを貼らせる。</li> </ul>
15分	3 分類したルールについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自分たちのためになるが、守れなさそう」というルールについて、どうしたら守れるようになるか、話し合わせる。</li> <li>○ 過ごしている環境が生徒によって異なるので、条件を付けたルールも可とする。 <i>（例：基本的には夜9時までの使用だが、塾のある日は10時まで。ただし、9時以降は友達には送らない）</i></li> </ul>
8分	4 ルールを3つにしぼる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作ったルールは、生徒の意識を高めるために学級に掲示しておくようにする。</li> <li>○ 「マルチャンカードPart 2」（情報モラルチェックカード）に、作ったルールを書き込み、1週間取り組んでいくように促す。</li> </ul>

**評価事項**

学級で作ったルールを守り、情報機器を適切に使おうとすることができている。

**【活動の様子・発言】**

□… 情報機器を使わない生徒については、テレビを見たり、ゲームで遊んだりする時間について考えるようにする。

☆… 「マルチャンカードPart 2」に自ら作ったルールを記入し、振り返ることができるようにする。

2分	5 学習のまとめをする	○ 本時の学習で考えたことを発表する。
----	-------------	---------------------

※斜体…情報活用能力を育成する学習活動